

IoT Lab Selection（第2回先進的 IoT プロジェクト選考会議）Finalist に対する IPA の採択決定！！

IoT Lab Selection（第2回先進的 IoT プロジェクト選考会議（7月31日））において、グランプリであるユニファ株式会社並びに Finalist である株式会社エクスメディオ、株式会社オリィ研究所、GNN Machinery Japan 株式会社、株式会社 smart-FOA 及び株式会社スペースマーケットに対して、IPA「先進的 IoT プロジェクト支援事業」への採択が決定しました。

今後、IPA との契約手続き等を経て、プロジェクトを実施していくことになります。

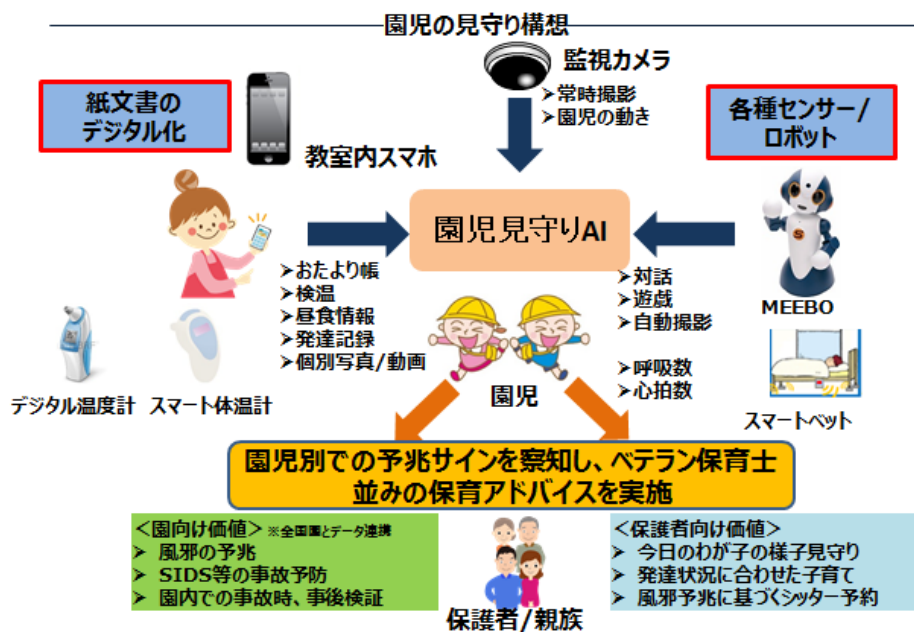
<http://www.ipa.go.jp/about/kobo/kobo20160603.html>

## <プロジェクト概要>

### ★グランプリ★ ユニファ株式会社

社会問題となっている保育士不足の問題を解決し、少人数で経験の浅い保育士でも園児を安全に見守ることができる保育園向け業務支援を、スマートフォン/センサー/ロボット等のテクノロジーを駆使することで実現。

具体的には、業務負荷の大きい手書きのアナログ書類のデジタル化（お便り帳・午睡チェック表・検温表等）や体調悪化・死亡事故を未然に防ぐ園児の見守り業務支援（動画カメラ/スマートベッド等のセンサー活用）のサービスを開発。



## ★Finalist★ 株式会社エクスメディオ

非眼科医向けに、画像及び問診データによる眼科疾患の自動識別・診断支援を可能とするAIを開発し、モバイルアプリ『メミルちゃん』へ搭載する。

現状、離島・僻地のみならず単科病院や被災地等でも非眼科医が眼科診断をせざるを得ない場面があり、その高い誤診発生率が課題として存在する。

同社は、既に高い判別精度を誇る皮膚科疾患自動識別 AIを開発中であり、今回は、同技術の眼科疾患へ適用を目指す。



## ★Finalist★ 株式会社オリィ研究所

同社は、「存在感の伝達」を可能とする分身ロボット OriHimeを開発。筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者や単身赴任など、身体的理由や距離的理由で行きたいところに行けない、会いたい人に会えない人にとって第二の身体を提供し、たとえベッドの上からであっても OriHimeを通して学び、働き、社会に参加することを可能とする。

現在は、難病患者や障害者はもちろん、子育て中の女性などのテレワークにも使われている。

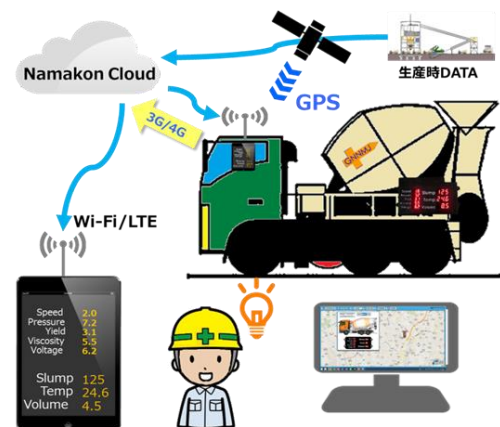


## ★Finalist★ GNN Machinery Japan 株式会社

運搬中の生コンクリート (以下、生コン) の状態を、GPS による位置情報・ドラム回転速度・ドラム内圧力等の車両情報と共に、リアルタイムでクラウドサーバーに送信することで、高度な品質管理を可能とする『生コン品質連続管理システム (スマートアジテーター)』の開発を行う。

現在、生コンの製品検査は一定の技術を持つ現場の作業員の手によるサンプリング検査であり、品質にばらつきが発生するとともに、これら 熟練労働者の確保に課題が存在する。

当該システムの導入により、人の手を介さない自動計測、生コン品質の全数管理を実現し、安全性の確保とともに、業務従事時間を~40%程度削減する等、生コン・建設業界の課題解決を図る。

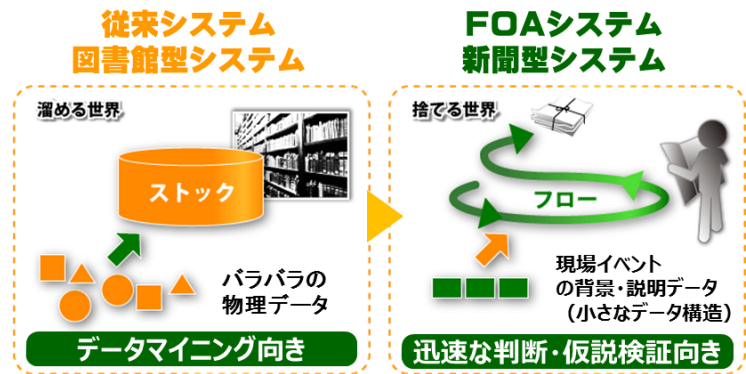


## ★Finalist★ 株式会社 smart-FOA

IoT の進展により製造現場において様々な情報システムが混在し、データ連係がより煩雑になることが想定される。

「FOAシステム」は「イベント」(例えば「不良品発生」)に関連する情報を各システムから集約することによって課題解決。このイベントドリブンのデータフロー型システムにより現場から経営層に至るまで、製造現場で何が起きているかを「分かる化」することが可能に。

また、既存システムにレトロフィットが可能であり、中小企業でもスモールスタート可能なシステム。今後、標準APIによりオープンプラットフォーム化することで、あらゆるサービスをシステム停止することなく拡張可能な「Smart-FOAプラットフォーム」に発展させる。



## ★Finalist★ 株式会社スペースマーケット

遊休スペースのホストと場所を探しているゲストをマッチングするプラットフォームを運営。会議室等に加え、神社仏閣や廃墟ビル、市長室、離島等、ユニークなスペースを多数掲載。スペースオーナーに対して新しい遊休スペース活用を提案し、ユーザーを結びつけることで、遊休不動産の収益化を続々実現。

AI を活用したリコメンド機能の精緻化、ホスト・ゲストが安心して利用するための補償制度の設計・実現を目指す。

